

平成 17 年 8 月 26 日

各 位

会 社 名 ティアック株式会社
代表者名 取締役社長 坂井淑晃
(コード番号 6803 東証第 1 部)
問合せ先 広報グループマネジャー
水石和夫
TEL (0422) 52-5009

子会社設立および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日平成 17 年 8 月 26 日開催の取締役会において、オーストラリアに子会社を設立することを決議いたしました。それに伴い、平成 18 年 3 月期業績予想を修正いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 子会社設立

(1) 設立の目的

オーストラリアにおけるコンシューマ機器事業の継続性について検証を進めてまいりましたが、オーストラリアにおける民生機器市場の将来的な成長期待の高さから、事業の継続に合理性があると判断し、その方法として、新たにティアックの子会社を設立し、ティアック オーストラリア PTY LTD.(以下、TA)の Voluntary Administration(任意管理)手続内において、当該子会社が事業を譲受け、新子会社のもとで事業を継続していくこととしました。

(2) 設立する子会社の概要

商 号	ティアック オーストラリア PTY LTD. (現 TA の社名を継承する)
代 表 者	代表取締役 中村成志 (ティアック株式会社取締役)
所 在 地	オーストラリア国ビクトリア州チュラマリン
設 立 日	平成 17 年 8 月(予定)
主な事業の内容	コンシューマ機器製品の販売
決 算 期	3 月
従 業 員 数	約 100 名
資 本 の 額	3 百万豪ドル
株主構成および所有割合	ティアック株式会社 100%

(3) 今後の見通し

オーストラリア事業継続の方針決定を受けて継続関連費用として 556 百万円、また当第 1 四半期より会計処理の方法を変更したことによる 394 百万円を特別損失に計上したこともあり、中間期、通期の売上高、経常利益、当期純利益を見直した結果、引き続き PC 市場での価格競争は厳しい状況にあることから、平成 18 年 3 月期業績予想を下記 2.3. のとおり修正いたします。

2. 平成 18 年 3 月期 連結業績予想数値の修正

(1) 中間期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 27 日発表)	47,300	500	600
今回修正予想 (B)	39,000	200	1,100
増減額 (B - A)	8,300	300	500
増減率	17.5	-	-
前期 (平成 17 年 3 月期中間) 実績	53,256	4,160	9,586

(2) 通期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 27 日発表)	100,800	500	300
今回修正予想 (B)	82,000	200	800
増減額 (B - A)	18,800	300	1,100
増減率	18.7	60.0	-
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	103,390	6,431	21,979

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 4 円 19 銭

3. 平成 18 年 3 月期 個別業績予想数値の修正

(1) 中間期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 27 日発表)	36,500	550	600
今回修正予想 (B)	31,000	350	200
増減額 (B - A)	5,500	200	400
増減率	15.1	-	-
前期 (平成 17 年 3 月期中間) 実績	42,586	3,917	9,906

(2) 通期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 27 日発表)	78,000	100	0
今回修正予想 (B)	62,500	300	150
増減額 (B - A)	15,500	400	150
増減率	19.9	-	-
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	79,267	6,862	22,276

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 0 円 79 銭

< 業績等の予想に関する注意事項 >

上記の予想は、現時点で得られた情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

以上